

## 第 24 回東京女子医科大学神経懇話会

日 時：2003年6月27日（金）17:45～20:00

場 所：東京女子医科大学 臨床講堂2

## 一般演題

座長（解剖学）佐藤二美

1. 肩甲上神経の背腹の層構成に関する比較解剖学的検討  
(解剖学, \*医学部学生) 吉富早香\*・川島友和・佐々木宏
2. ヒト上肢変異筋とその支配神経共同幹形成について (解剖学, \*医学部学生) 川島友和・横田恵梨\*  
大久保文恵\*・山名やよい\*・菊嶋聡子\*・吉富早香\*・伊藤茉莉\*・星野慈恵\*  
大石瑛子\*・池田絵理\*・五十嵐麻貴\*・佐藤二美・佐々木宏
3. ラット大脳ミクログリアの立体構造 (解剖学) 渡辺浩太・佐々木宏
4. 正常圧水頭症 (NPH) に対する cine MRI および  
CT/RI 脳槽造影検査と髄液循環動態の比較検討 (神経内科) 武田貴裕・伊藤英一・小林正樹・岩田 誠  
(神経放射線科) 阿部香代子・小野由子  
(脳神経外科) 堀 智勝
5. 瀬川病の1女児例 (小児科) 村上てるみ・西村 敏・金子かおり・今井 薫  
小国弘量・舟塚 真・大澤真木子
6. Post-stroke depression の評価尺度 (神経内科) 宮崎一秀・内山真一郎・岩田 誠

## 特別講演

座長（解剖学）佐々木宏

福山型筋ジストロフィーの神経病理—小多脳回形成機序と錐体路異常について—

(自治医科大学神経内科教授) 中野今治

当番世話人：(東京女子医科大学解剖学) 佐々木宏

当 番 幹 事：(東京女子医科大学解剖学) 佐藤二美

共 催：東京女子医科大学神経懇話会・エーザイ(株)

## 1. 肩甲上神経の背腹の層構成に関する比較解剖学的検討

(解剖学, \*医学部学生) 吉富早香\*

川島友和・佐々木宏

上(前)肢筋を支配する腕神経叢は、これまで多くの議論がなされてきたものの、解剖学的に十分に解明されたとは言いがたい。C型腕神経叢の形成機序や肩甲上神経(SS)の背腹層の帰属などは、特に見解が分かれている。

そこで今回我々は、食肉類の中でも原始的な分類に属するマンゲース(Viverridae, Herpestes)2体3側を対象として、これまで報告がないと思われる腕神経叢の形態を報告するとともに、SSが背側層と腹側層のどちらに属するのかを比較検討した。

その結果、マンゲースでは①肩甲骨は頭側かつ腹側に傾いていること、②棘上筋は肩甲骨の背側面のみならず、腹側面までその起始を拡大していること、③SSはC6の中央部から起始していたこと、な

どからSSは背腹両方の層を含むことが確認された。ヒトでは腕神経叢の形態が非常に複雑なのに加え、肩甲骨が背側かつ尾側方へ位置することから、SSの背腹層帰属の理解が容易でなかったが、ヒトでも同様に背腹両方の層を含むと考えるべきであろう。

## 2. ヒト上肢変異筋とその支配神経共同幹形成について

(解剖学) 川島友和・佐藤二美

佐々木宏

(医学部学生) 横田恵理

大久保文恵・山名やよい・菊嶋聡子

吉富早香・伊藤茉莉・星野慈恵

大石瑛子・池田絵理・五十嵐麻貴

これまで筋の近縁関係や変異筋の筋原基を論じる際には、その支配神経を調査することによって類推されてきた。しかし、ある筋群が全て同じ神経に支配される場合には、単にその支配神経を確認するだ